

普天間基地の閉鎖・撤去・返還を求める署名

内閣総理大臣 様
衆議院議長・参議院議長 様

普天間基地の無条件即時閉鎖・撤去・返還を求めます
辺野古崎沖・徳之島への移設を決めた日米合意の撤回を求めます

【趣旨】

普天間基地は、沖縄県宜野湾市の約4分の1を占めています(米軍基地は3分の1)。そして、基地の近くには普天間第2小学校をはじめ、病院や幼稚園等の公共施設、住宅街があります。米兵による犯罪や事故等も多数発生していて、夜間の飛行訓練をしてはいけないという約束も守られていません。建物スレスレの超低空飛行、騒音被害もあり、地元住民は不安を感じています。

最近では、沖縄国際大学にヘリコプターが墜落しましたが、日本側は調査に踏み込まず、アメリカが単独調査を行いました。これで日本は「独立国」なのでしょうか。

普天間は、世界一危険な基地です。

沖縄県民が声をあげたため、96年に普天間基地を返還するという事で、日米が共同記者会見。3日後、返還には代替施設が必要であると日米が合意。普天間返還と辺野古に基地を移設・新設する計画とは一体でした。これは、地元住民の強い反発のため、計画は進みませんでした。

そして、去年、鳩山元総理は選挙の時、「最低でも県外、できれば国外」と言い、沖縄県民に期待を抱かせました。ところが、2010年5月、結局、辺野古と徳之島への移設に合意してしまいました。基地をたらいまわしにしてはいけません。沖縄と日本の基地負担は減らし、なくすべきです。

日本全国にある米軍専用施設面積のうち、75%が沖縄に集中しています。日本全米軍基地134のうち100が本土にあり75%をしめています。全世界の米軍基地の17%が沖縄県を含む日本に集中しています。全世界の米軍基地の費用の半分以上を日本が負担しています。在日米軍基地費用の75%は、沖縄県民と日本国民が負担しています。さらに、日本を防衛しているはずの米軍基地ですが、普天間基地には海兵隊(戦争になったとき、前線へ最初に突っ込む超攻撃型の部隊)がおかれています。じっさい、ベトナム戦争、イラク戦争が起こったとき、最前線基地になったのは沖縄と本土の米軍基地です。

沖縄は、過去の陸上戦で、数多くの被害を受けました。その地を、再び戦場に近い状態にしていることは、絶対にいけません。

また、日本は戦争に加担することはないといっていますが、現に沖縄からイラクやアフガニスタンに向けて普天間基地の海兵隊やヘリコプターが派遣され、戦闘機が飛び立っています。これを日本政府が完全に認めているのですから、日本が戦争に加担・参加していると言われてもしかたがありません。政府の行為による米軍の駐留そのものが、憲法前文と9条に違反しています。

このような理由で、普天間基地を無条件で即時閉鎖・撤去・返還することを求めます。また、辺野古崎沖・徳之島への移設を決めた日米合意の撤回を求めます

氏名	住所	印またはサイン	募金

取り扱い団体：
同上住所：